

瀬戸内トラストニュース

第41号 2008年4月

環瀬戸内海会議事務局 700-0973 岡山市下中野 318-114 松本方 Tel & fax 086-243-2927

7月12~13日、祝島に集おう

環瀬戸内海会議第19回総会 上関町祝島で開催



2008/02/09

08.2.9 長島田ノ浦湾 この日は寒かった



2008/02/10

08.2.10 中電詳細調査台船の目と鼻の先に祝島



2008/02/10

08.2.10 田ノ浦湾には調査用台船が10数基



2008/02/10

08.2.10 漁師さんの船上から田ノ浦湾を観察

環瀬戸内海会議第19回総会開催要領は、12頁（ウラ表紙）をご覧下さい。なお、総会申込書等は、おって次号トラストニュース42号にとともににお届けします。今から予定に入れておいて下さい。

目 次

[香川県小豆島]内海ダム	日本環境法律家連盟が視察「ダムは危険！」	寒霞渓を守る連合会	2
[広島県福山市]「守りたい伝えたい鞆の浦」署名にご協力を！		鞆まちづくり工房	3
[岡山市]小鳥が丘団地土壤汚染問題	岡山地裁、5月30日現地検証へ	松本 宣崇	4
[大分県佐伯市]大入島住民に原告適格なし？		下川 澄江	5
2008年度瀬戸内海沿岸生物調査ご協力のお願い		小西 良平	6~7
[山口県上関町]長島田ノ浦湾を上関原発から守ろう		新井 章吾 高島 美登里	8
[広島県]竹原市で藻場造成計画を止めた！手付かずの干渴守った！		松本 宣崇	9
市民が提案する「もうひとつの環境サミット」		市民環境 サミット実行委員会	10
処分場問題全国ネット再建総会兼全国交流集会&アースディカガワ in 豊島 2008			11
環瀬戸内海会議第19回総会	祝島で開催		12

ダムは危険！ 弁護士17名 専門家の指摘



県民の税金どう使う？ 内海ダムのさらなる検証を！

公共事業は、一度決まると計画変更を苦手としています。新内海ダム計画は185億円、しかし、いざ工事が始まるとなんだん工事費が大きくなるのが通常です。ダム計画事業費以外の付帯工事も含めれば300億円は超えてしまうとも予測されます。逼迫した県財政では、極めて大きな負担になります。

実情に合わない事業は変更しなければなりませんが、それを実現するのは私たち県民の役割です。知らないところで無駄な事業やゆがんだ事業は進められています。県民のみなさんの税金で。そして誰も後の責任をとるわけではありません。新内海ダム計画の必要性に関して、公開で討論することを繰り返し申し入れても「すでに説明している」として香川県は拒み続けています。

何故、香川県は県民の前で堂々と公開討論を受けて立たないのでしょうか？

県民の税金どう使う？ 内海ダムのさらなる検証を！
あなたの税金でにつくる 内海ダム再開発事業とは？

私たち
公開討論を繰り返し申し入れます。

4月5日～6日にかけて、日本環境法律家連盟の総会が小豆島で開かれ、既存の内海ダムを視察検証しました。遠くは北海道や長野をはじめとする全国から集まった17名の弁護士の一団です。

新内海ダム計画は、洪水調整を操作しない通称「穴あきダム」です。「ダムは限られた範囲では機能するかもしれないが、ダムがあるために災害を大きくすることはいくらでもある」と多くの活発な見識が示されました。

●想定外の洪水に対しては機能を失い生きなり大災害を起こすこと、●放流量が調整できないために高潮との関係で被害を拡大することがあること、●既存のダム下流では「洗掘」などにより堤防の土台がむき出しになり堤防決壊などの危険性につながることなど次々と問題点が具体的に指摘されたのです。

さらに、このダムが地域の災害の実情に合っておらず、全国的にも珍しいいびつなダムであることに一同は大きな関心を示しました。

土台がむき出しになった堤防



「守りたい伝えたい鞆の浦」署名にご協力を！

鞆の浦は、万葉の時代より潮待ち・風待ち港として人々が行き交い、独特的な文化を育み継承し栄えてきました。中世には朝鮮通信使も「日東第一形勝」とその美しさを絶賛しました。また鞆港は世界に三カ所しかない自然円形港湾の一つで、近代港湾施設である波止、雁木、焚場、常夜燈、船番所の規模は類例を見ず、国内唯一すべてが揃って現存する港です。さらに町には43の史跡・文化財や港を中心に栄えた江戸期の町家が180軒余り、鞆の浦の文化的伝統を今に伝えています。

享月 二
29 声・主張 10版

業界 展示
2008年(平成20年)3月26日

日本イコモス国内委員会事務局長
やの 矢野 和之

私の視点

dai-siten@asahi.com



日本で最も美しい歴史的に重要な港・鞆の浦（広島県福山市）が、埋め立てと架橋により危機に瀕している。瀬戸内海の中央に位置し、古代から潮待ち港として栄え、万葉の歌に詠まれた。朝鮮通信使はその美しさを「日東第一の形勝」（日本一の名勝）と絶賛した。

港から眺める瀬戸内海の風景、港へ入る時に迎えてきた常夜燈や落ち着いた雲並みの心休まる景観は、

まさに心の港である。鞆の浦の港の一部を埋め立て、橋を架け、道路を通す工事を08年度にも始めようとしている。25年以上前に計画されたもので、たびたび運動が広がる。

広島県と福山市は、鞆の浦の港の一部を埋め立て、橋を架け、道路を通す工事を08年度にも始めようとしている。25年以上前に計画されたもので、たびたび運動が広がる。

民の会が組織され、映画監督の大林宣彦さんなどが発起人となり、「支援する会」ができた。国際的にも出来ない事業の典型例だろ

日本人が愛する心象風景の一つといえる。今年公開される宮崎駿監督の「崖の上のポニョ」の舞台でもある。宮崎監督はこの鞆の浦が入り、滞在して構想を温めた。

また、鞆の浦は、雁木（階段状の船着き場）、常夜燈、波止、焚場（船の修理場）、船番所という歴史的港湾らしさセットのすべて

の要素がのこる日本唯一の存在で、江戸時代以来の伝統的な町並みも豊かだ。

「鞆の世界遺産実現と活力あるまちづくりをめざす住民団体は山側トンネル案を提案したが、「ま

2007年には「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれ、国内外の評価は高まるばかりです。ところが今、広島県と福山市は、風土に根ざした文化・生活・景観を台無しにする埋立架橋計画を強行しようとしています。行政は強行理由に車輪渋滞解消を掲げていますが、2007年11月に市民が行った交通量調査では渋滞の実態はありませんでした。

鞆の浦は、鞆港埋立架橋計画が強行されれば公害道路に囲まれ、世界遺産の価値を失ってしまいます。鞆の浦の貴重な歴史遺産は、福山城へと続く文化の連なりの中にはあります。私たちは、これらを共に活用してゆくことによって、市民のみならず日本国民が世界に誇れる福山市になると確信いたしております。

私たちが要望すること

- ☆鞆港埋立架橋計画を中止すること
- ☆鞆の浦を世界遺産登録物件として推薦すること

☆それらを前提として、住民参加でまちづくりの構想全体を練り直し、実施についても、多くの市民が関わるよう工夫すること

(以上、鞆まちづくり工房HPより転載)

保護に国レベルの判断も

署名用紙は、鞆まちづくり工房ホームページの「署名活動」からダウンロードして下さい。環瀬戸事務局にもありますので、ご協力頂ける方のご連絡をお待ちしています。

08・3・31コース23 特集「鞆の浦」
映画監督 大林宣彦さんコメント

鞆の浦は古きものを温めているといひだ

大分県佐伯市大入島「磯草の権利」訴訟報告

大入島住民に原告適格なし？

佐伯の自然を守る会事務局長 下川 澄江

地元の海を生活の基盤としてきた地元住民には、目の前の海が埋め立てられようとしているのに「訴える権利がない」と、大分地裁では昨年3月不当な判決でした。

おかしい、矛盾を抱えた判決に福岡高裁へと控訴しました。地裁での不当性を明らかにし、工事の中止を強く願ったからです。

「磯草の権利」は大入島の人なら誰でも知っている慣習上の権利である。しかも埋立て問題が起きる前までは賛成派も知っていたし、認めていた。この磯草の権利を法的に認められるか、保護されるべきかを問われていた裁判だった。



漁場を埋立てるとき、今までの慣習が消滅するのだから、そこに住んでいる漁民（組合員・非組合員）の同意が絶対に必要なはずである。それなのに大分県知事は埋立免許を組合員だけの同意で許可したのである。その免許を取消してほしいというのが石間区民（非組合員）の切なる願いなのである。

ところが行政側は、全く的外れな話ばかりを持ってきた。県南の発展のために埋立は必要であり、埋立地には宅地、緑地を作りましょう。サッカー場まで計画に入っていた。磯とともに暮らしてきた人々にはとうてい理解できない話だった。

裁判官の判決には振り回されたくないが、もし認めてもらえるなら、私達も漁民としての実績を作り、水面権利者となるべく、去年よりひじき採りをし、それを販売する苦労までやっている。年老いた人達や水面作業をしたこともない若者が必死になりひじき採りをやってのけ、今年の総会では区の収入にあがった。それも裁判官に認めてもらいたいためである。

大きな益を求めるのではなく、区の行事として毎年行われていた入札会。補償金目当てといわれ傷ついた10年間、つらい年月に耐えてきた日々。今も明らかになる市の不当な扱い。知らない事も多いが、知つてしまったら怒りより失望の方が大きいのは何故だろう。市のみならず裁判官にも失望した。徳田弁護団長の「本（大分地裁）判決は、司法に課せられた使命を放棄し、違法かつ杜撰極まる本件埋立計画に対する司法審査を回避した極めて不当な判決である」とし、また熊本教授も「漁業法を全く知らない裁判官が、権力側に付いて出した判決である」とした。

私はこう思う。裁判官が認めなくても、目の前の現実を大切にすべきである。自分たちで自分たちの生活を守ればいい。せめてきたら押し返す。私たちの権利は消滅したわけではなくずっと今でも生き続けているのだから。

佐伯市大入島「廃棄物埋立護岸事業計画」埋立免許取消請求訴訟
控訴審 次回公判日程

5月15日（木）16：00～ 福岡高裁

2008年瀬戸内海沿岸の海岸生物調査ご協力のお願い

生物調査担当 小西良平

海岸生物調査のねらい

- ・近年瀬戸内海で魚貝類の漁獲量の激減がいわれるものの、沿岸での公的な生態系の調査がないなか、環瀬戸の市民による定点での継続的な海岸生物調査は重要な位置を占める。
- ・自然海岸が失われ、コンクリート護岸によって海に接する機会すら失われてきた市民にとって、この調査を海に親しむ機会とする。
- ・各地の人々が暮らす地域の足下の海がどうなっているのか、今まで棲息していた生物がいなくなったり、また今までと違う生物が見つかれば、その地域の環境の変化を知る手がかりとなる。
- ・瀬戸内沿岸に住む住民にとって、瀬戸内海の海の現況を知る機会を持てる場として、ひいては地域や生協やいろいろな環境に関心を寄せるサークルなどの年間行事として定着し、環境教育の場となり、豊かな美しい自然を次世代に継承していく力を育む。
- ・生物調査が地域のコミュニケーション再生のための一つの場の提供になっていくことを目指す。
- ・生物学に詳しくない素人の一市民が手軽に、レクリエーションを兼ねてでもできることで、継続して調査を行っていく。

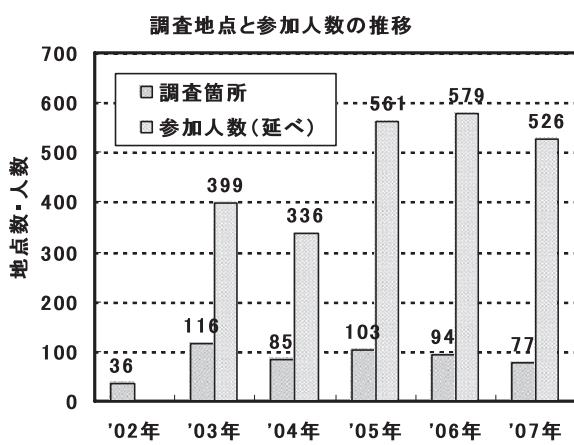
これまでの成果

環瀬戸の海岸生物調査は2002年から開始し、今年で6年目を迎えようとしています。2007年は現在把握しているもので77箇所、参加人数526人となった。

ここ3年間の調査では毎年延べ500人以上の市民・子どもが参加してくれ、生協や地域の子どもエコクラブなど子供の参加が増えてきている。

調査地点の推移

	和歌山	大阪	兵庫	岡山	広島	山口	福岡	大分	愛媛	香川	徳島	合計	参加人数
'02年	0	0	4	5	7	2	1	4	8	5	0	36	
'03年	2	2	9	11	33	5	3	2	25	22	2	116	399
'04年	0	1	9	14	10	4	5	1	20	21	0	85	336
'05年	0	1	11	12	20	12	3	3	22	19	0	103	561
'06年	0	2	13	10	20	3	3	0	24	19	0	94	579
'07年	0	3	6	11	13	2	2	0	23	17	0	77	526

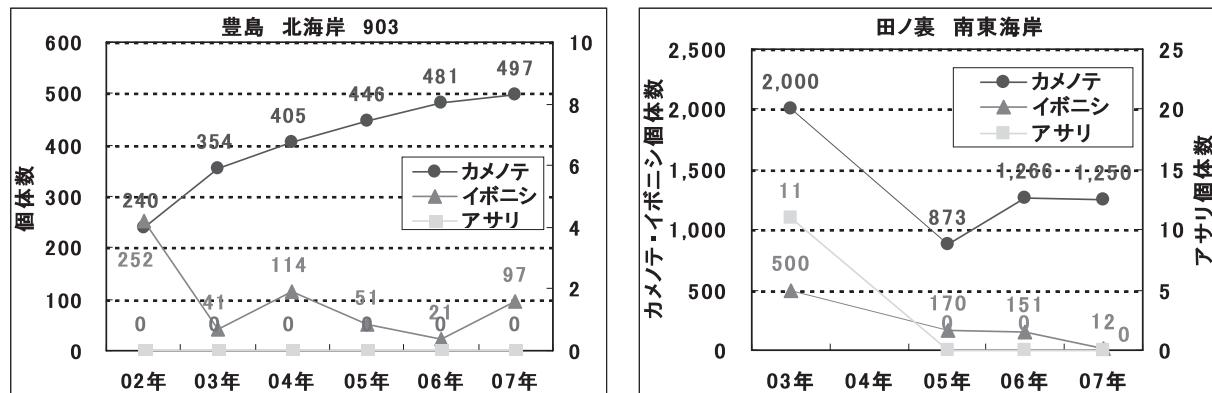


07年12日香川県観音寺市余木崎

また充分整理できたとは言えないが、2002年～06年までの5年間の海岸生物調査結果を元に、昨年10月に「2002～06年 瀬戸内海沿岸の海岸生物調査報告書」を作成・発刊することができた。報告書には、瀬戸内海に研究者からもお褒めの言葉を頂いている。調査に協力いただく市民の皆さんには是非ご活用いただければと願っている。また、今年できれば改訂版を発行したいと考えている。

各地の調査のようす

調査結果も6年間継続して調査することで、各定点において経年の変化が少し見えてきている。産業廃棄物の不法投棄で有名な香川県豊島の北海岸の岩礁帯ではカメノテの増加傾向が見られる。これは北海岸に漏れ出ていた汚染水を2001年に遮断壁で止めたことが影響している。反対に、山口県上関町の田ノ浦海岸ではイボニシが年々減少していく傾向が見られる。この原因については原子力発電所予定地での詳細調査による環境の悪化が原因と推測される。



今年の調査

今年の各地の調査に適した日時を示しますので協力お願いします。また必要とあれば調査の指導に出向きますので連絡をお願いします。

			大阪・神戸	岡山・高松	今治・竹原	広島	松山・山口	大分・福岡
5月	3,4,5日	土,日,月	12時	◎	16時	◎	15時	◎
	17,18日	土,日	12時	◎	16時	○	14時	○
6月	31,1日	土,日	11時	○	14時	○	13時	○
	14,15日	土,日	11時	○	15時	○	12時	△
7月	5,6日	土,日	15時	◎	18時	◎	18時	○
	19,20,21日	土,日,月	14時	◎	18時	○	17時	○
8月	2,3日	土,日	14時	◎	18時	○	17時	○
	16,17日	土,日	12時	◎	17時	○	16時	○
	30,31日	土,日	13時	◎	17時	○	15時	○
9月	13,14,15日	土,日,月	12時	◎	16時	○	15時	◎
	27,28日	土,日	12時	○	16時	○	14時	○

2008年度瀬戸内海沿岸の海岸生物調査は、KJB瀬戸内基金08年助成と全労済地域貢献助成金07年度助成を受けて実施します。

山口県上関町長島田ノ浦湾を原発建設から守ろう

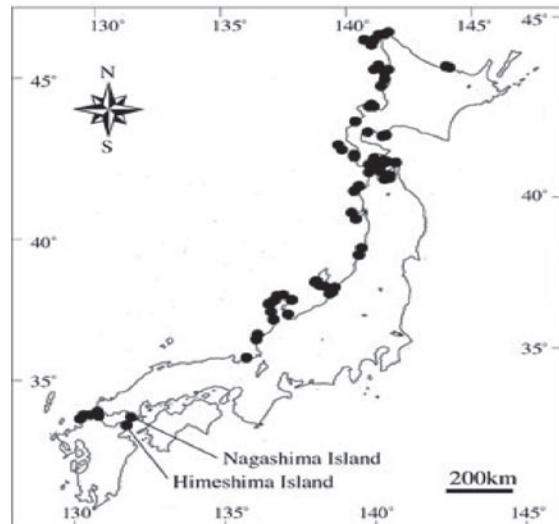
田ノ浦湾で希少種「スギモク」群落が確認された！

私たち環瀬戸が「瀬戸内海の原風景」、「とっておきの瀬戸内海」と主張してきた上関原発予定地、上関町長島田ノ浦に、さらにそれを裏付ける海藻「スギモク」の群落が見つかった。第19回総会のシンポジウムのパネラーを務めてもらう新井章吾さん、開催受け入れを準備して下さる長島の自然を守る会代表・高島美登里さんからの報告です。



2008.3 上関町長島・田ノ浦のスギモクの群生
(新井章吾さん撮影) カラーで紹介できず残念！

ホンダワラ類のうち、スギモクの生殖器床だけが中空のために（日本海が汽水化したときに獲得した形質？）、黄金色に輝いて見えます。スギモクは砂に埋没した礫にも着生しているため、砂地に生育しているように見えます。酸素を含んだ海水と陸域からの伏流水が砂中を循環しているため、枯れずに生育しています。田ノ浦湾は沖合より透明度が高く、砂地海底で濾過された海水が滞留しているのではないか



日本におけるスギモクの分布

ということについては、広島大学助教・菊池亞希良さんと調査中です。

スギモクは瀬戸内海において、現在、長島田ノ浦と姫島の西浦の2箇所のみに分布しています。それらの地域個体群は、福井県～北海道の個体群から地理的に隔離されている点で重要です。論文では、分布南限付近のスギモク群落を絶滅の恐れのある地域個体群に指定し、長期的なモニタリング体制の充実を計ることが急務であることが指摘されています。

(株)海藻研究所所長 新井章吾さん

* 新井さんは、潜水調査のプロで、海藻(草)の専門家。田ノ浦では2005年春から何度も潜水調査を続けています。

注①：スギモク（褐藻綱ヒバマタ目）の分布と基準産地：特に周防灘における分布と南限群落について藻類56巻、2008.3月刊（新井さんはじめ4名の共同執筆）

注②：スギモク ヒバマタ目ホンダワラ科。日本海沿岸・朝鮮半島とロシア沿海州に分布する一属一種のスギモク属海藻で当海域の固有種。瀬戸内海では1960年以降大分県姫島と山口県長島でしか見つかっていない。

3月27日(木)KRY(山口放送)ニュースで中国電力の来年度の電力供給計画の報道と対比させる形で長島田ノ浦のスギモクの映像が流されました。新井さんが海中撮影してくださったものです。

3月上旬にしか見ることの出来ないスギモクの生殖器が海中で黄金色の花のように立ち上がり、輝

くさまはまるで「ナウシカ」の黄金の原のように美しいです。

今後、中国電力は田ノ浦湾の埋め立てを計画していますが、それが如何におろかな行為であるかをスギモクは声なき声で訴えています。

長島の自然を守る会代表 高島美登里

竹原市で藻場造成計画を止めた！ 手付かずの干潟守る！

昨年4月、広島県竹原市で計画されていた「浚渫土砂埋立による藻場造成」は、市民の活動で中止に追い込まれました。そして、手付かずのハチの干潟は守られました。市民の勝利です。

中心的役割を担ったハチの干潟調査隊隊長・岡田和樹さんに、来る7月の環瀬戸第19回総会で、勝利の報告をしてもらいます。

環瀬戸内海会議事務局長 松本 宣崇



ハチの干潟 はがき が出来上がりました

6枚1セットで500円です。収益は活動にあてられます。2006年に撮影したもので、美しいハチの干潟をみなさん知つてもらいたくて作成しました。また、はがきの収益は活動に使用させていただきます。協力お願いします。お問合せは、ハチの干潟調査隊 岡田まで。729-2251 三原市幸崎町久和喜 3045-1
岡田和樹
電話 080-3882-2372

(ハチの干潟調査隊 HP より転載)

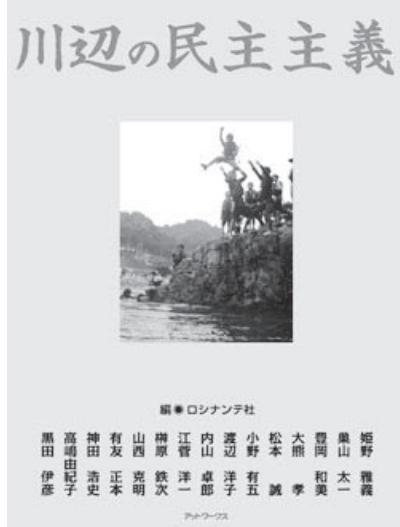
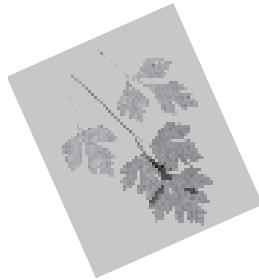
新刊紹介 川辺の民主主義

河川・ダム行政から民主主義を問う

発行：(株)アットワークス

ロシナンテ社・編

価格：1,575円（税込）



民主主義は参加すること。

徳島・吉野川第十堰問題をめぐる住民投票の経験から、流域住民の川への思いと各地のダム問題に取り組む現場からの報告

いったん計画されると、何十年経ようと止まることを知らないダム計画。それも流域住民が知らないうちに計画されて。07年8月徳島で開催された「川をとりもどす全国川のシンポジウム」の記録、小豆島・内海ダムや愛媛県の山鳥坂ダムなど各地の現地報告が収録されています。是非お買い求め下さい。全国最寄の書店でご注文下さい。環瀬戸事務局でも取り扱っています。

ラムサール条約入門 ゆたかな山・川・里・海を未来に伝える (ラムサール条約マニュアル第4版)

監修：堀 良一・柏木 実（日本湿地ネットワーク）

発行：日本湿地ネットワーク JAWAN 価格：1,600円

申込先：日本湿地ネットワーク〈JAWAN〉事務局

191-0052 東京都日野市東豊田3-18-1-105 柏木方 出版担当者宛

TEL・Fax 042-583-6355 Eメール：book2008@jawan.jp

市民が提案する「もう一つの環境サミット」

日 時： 5月24（土）～25日（日） 24日 13:00～ 25日 10:00～
会 場： 24日 私学会館（神戸市元町駅北西へ4分）会議室
25日 学校厚生会館（私学会館向い）ホール

5月24～26日神戸においてG8環境大臣サミットとそれに伴う各種イベントが計画されています。

この機会に私たちは地球温暖化や環境問題についてG8やグローバリズムや国の枠ではなく市民の視点でとらえ、問題提起をしたいと考えます。NGOやNPO、市民団体の有志の皆さん

に協力をえて「市民が提案するもうひとつの環境サミット」（略称 市民環境サミット）を開催しようと準備をしています。主旨に賛同いただき、積極的に参画して頂きますようお願い申し上げます。

詳しくは、インターネット“地球環境サミット”で検索してください。



主催：市民環境サミット実行委員会

事務局：655-0872 神戸市垂水区塩屋町2-6-27 恩田怜 方

T/F 078-751-2853 Eメール judypapa@warp.or.jp

郵便振替口座 00910-6-123069 加入者名 市民が提案するもうひとつの環境サミット実行委員会
呼びかけ人：飛田雄一（神戸学生青年センター館長）喜多幡佳秀（ATTACK関西）能村聰（神戸まちづくり研究所）
恩田怜（みどり関西）

賛同人：青木敬介（播磨灘を守る会）大林ミカ（環境エネルギー政策研究所代表）川田龍平（参議院議員）
讃岐田訓（京都学園大学教授）中山千夏（作家）他

急 告 ニュース作成中に、極めて残念な極めて不当なニュースが飛び込んできた！

4月3日、香川県は小豆島・内海ダム「予定地」に土地収用を申請！ 内海ダムに公益性ない！ 断固、公聴会開催を求める！

香川県は県議にもマスコミにも知らせず、[伝家の宝刀] 土地収用の暴挙に出た！地元地権者の「公開討論」申し入れを無視して。公告総覧期間はわずか二週間。地権者ははじめ「公聴会」開催を要求する！

4月13日最高裁不当判決、

上関原発予定地内共有地の入会権を認めず、住民側上告棄却！

最高裁は、原発予定地内の共有地の入会権を無視して、住民側上告を不当にも棄却した。一審では住民の入会権は認められたが、二審・広島高裁で逆転判決、今回の棄却判決で住民の敗訴が確定した。全国からの支援を得て、上関原発建設に歯止めをかけ、「とっておきの瀬戸内海」を守りたい！

二〇〇八年四月

香川県豊島の上口信雄様（享年八十一歳）が病気療養中のところ薬石効なく三月三十一日お亡くなりになられました。私ども環瀬戸内海会議が豊島と出会ってから早や十二年がたとうとしています。島と都市を結ぶものとして豊島の方たちと立ち上げたのが豊島未来の森トラストでした。未来の森トラストを深くご理解頂き、「未来の森発祥の地」の石碑を作成から建立まで無報酬で建てて下さったのが全島未来の森トラストでした。上口信雄さんでした。生前中的一方ならぬご厚誼に深く感謝するとともに豊島をこよなく愛した上口さんの思いを胸に刻み瀬戸内海の自然を守り育み後世に受け渡すことをご靈前に誓い申し上げますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

お悔やみ



5.31～6.1 処分場問題全国ネットワーク再建総会 兼 第13回処分場問題全国交流集会 & **6.1 アースディかがわ in 豊島 2008**

処分場問題全国ネットワーク再建総会 兼 第13回全国交流集会

日 時：2008年5月31日（土）、6月1日（日）

場 所：香川県土庄町豊島

内 容：

1日目（5月31日（土））

13:40～15:30 処分場現地見学（豊島交流センター集合）

15:30～17:30 処分場問題全国ネットワーク再建総会（豊島公民館にて）

19:00 交流会兼懇親会（てしまリゾート）

2日目（6月1日（日））

9:30～12:30 第13回全国交流集会（豊島小学校体育館）

テーマ「不法投棄原状回復への取り組みの現状と課題

— 豊島公害調停成立8周年、無害化処理開始5周年をむかえて」

豊島からの報告（30分） 各地報告（60分）（5分×10団体程度）

パネルディスカッション（60分）「不法投棄の原状回復への取り組みの現状と課題」

主催：処分場問題全国ネットワーク、廃棄物対策豊島住民会議 アースディかがわ in 豊島実行委員会

オプション① 2日目のみ参加の方の豊島現場見学（13:30～15:30）

オプション② 直島中間処理施設見学（13:30～17:00）～直島・宮浦港で解散（先着順40名）

参加費： 5.31 再建総会参加費 1,000円 6.1 全国交流集会参加費無料 資料代 1,000円

懇親会費 5,000円 処分地見学参加費（ガイド付）1,500円 直島中間処理施設見学 2,500円

2日目昼食（弁当 お茶付）1,000円

宿泊： 1泊朝食付 6,000円 定員 100名（先着順）。宿泊先は豊島島内のてしまリゾート他

問合せ・申込先：〒552-0007 大阪市港区弁天2-1-30 環境監視研究所内

第13回処分場問題全国交流集会事務局 tel06-6574-8002 fax06-6574-0876

e-mail：nakachi@triton.ocn.ne.jp

郵送、FAX または e-mail で連絡を。参加申込期限：5月24日（土）。

アクセス：1日目 岡山、宇野方面からは11時10分宇野港発小豆島フェリーが、高松方面からは高松港第二桟橋からなる13時発マリンあすかが便利です。



アースディかがわ in 豊島 2008 「育てつづけよう瀬戸の里海・里山」

日時：2008年6月1日（日）9:30～

場所：香川県土庄町豊島

内容： 9:30～12:30 処分場問題全国ネットワーク第13回全国交流集会
(豊島小学校体育館)に合流します。



13:30～15:30 産廃不法投棄現場見学・現場北海岸生物調査（担当・環瀬戸内海会議）
耕作放棄地再生・島めぐり・探鳥会・etc 16:00 終了・解散

参加費：500円

アクセス：高松港発 8:40 家浦港着 9:15 (チャーターボート 料金：2000円)

宇野港発 8:35 家浦港着 9:15 (定期フェリー 料金：片道750円)

* 昼食の弁当販売が、島の人たちにより準備されます。マイ箸・マイカップ・マイ皿のご準備を

主催（問い合わせ先） アースディかがわ in 豊島 2008 実行委員会

TEL/FAX 087-832-5188 Eメール t-net@poem.ocn.ne.jp

環瀬戸内海会議第19回総会、祝島で開催

環瀬戸第19回総会は7月12(土)～13日(日)、上関原発計画に抗して島ぐるみで闘いを続いている、山口県上関町祝島で開催します。

祝島へはチャーター船で渡ります。柳井港に7月12日 12:00(時間厳守)にご集合下さい。最寄り駅はJR 柳井港駅です。

JR利用の場合、JR山陽本線：柳井港駅(柳井駅でない!)へは、以下の列車が便利です。

広島・岡山・神戸方面から 広島駅 10:19発 柳井港駅 11:38着

山口・小倉・大分方面から 新山口駅 10:11発 柳井港駅 11:48着

チャーター船乗り場：柳井港へは駅から徒歩5分

テーマ：生命圏としての里海(仮称)

総会開催にご尽力して頂いた長島の自然を守る会は、「上関原発 NO!」のもうひとつの切り口として、田ノ浦湾を含む周防海域のラムサール条約指定地登録の運動を進めています。そのために山口県光市から周防大島にかけてのグループ・個人の緩やかなネットワーク：周防バイオスフィア(=生命圏)協議会(仮称)結成を目指しています。他方、国交省などによる住民不在の「里海再生事業」が暴走しています。住民・市民サイドに立った「里海」をともに考えたいと思います。

総会日程の詳細(詳細未定部分あり、ただし集合時間は変更ありません)

7月12日 12:00 柳井港集合 チャーター船で祝島へ(集合時間厳守)

14:00～ 第19回総会

現地報告 ① 上関

② 海岸生物調査報告

③ 竹原市「浚渫土砂埋立干潟造成計画」反対運動勝利

議案 ① 2007年度活動報告・決算報告

② 2008年度活動方針・予算案

③ 2008～9年度役員選任



16:00～自由散策

18:30～懇親会

7月13日 10:00～シンポジウム「生命圏としての里海」(仮称)

パネラー：新井章吾(海藻研究所長) 菊池亜希良(広島大助教)

向井 宏(北海道大学名誉教授) 予定



08年度会費納入のお願い

年会費 個人一口 2,000円 団体 5,000円

何口でも可



すでに納入頂いた方にも振込用紙を同封しておりますが、ご容赦下さいようお願い致します。環瀬戸の活動は主に年会費とカンパで賄われています。また、環瀬戸では上関はじめ各地の運動支援や瀬戸内法改正のための支援カンパをお願いしています。カンパにご協力を願います。

瀬戸内トラストニュース 第41号 2008年8月20日発行 / 発行責任者 前田俊英

環瀬戸内海会議 代表 阿部悦子 (TEL 089-915-0619)

郵便振替口座 01600-5-44750 加入者 環瀬戸内海会議

URL <http://ww1.tiki.ne.jp/~rkshizutani/>

メールアドレス kanseto@mx36.tiki.ne.jp